



令和5年度 指定管理者事業評価書

施設名	弾正公園・野村公園		指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	公園緑地課	初年度	77,855,357円	11,804,215円	93,907,191円	利用料金収入は概ね目標に達したものの、電気代をはじめとする物価の高騰等の影響もあり苦しい状態である。	「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつなぐ ふるさと 健幸創造都市 草津の実現」・「「する みる 支える 知る」"ALL くさつ"でつなぐ健幸スポーツのまち」
施設HPアドレス	http://@sports932.net	2年目	75,372,841円	12,224,960円	93,151,715円	利用料金収入は概ね目標に達したものの、電気代をはじめとする物価の高騰等の影響もあり支出増により苦しい状態である。	「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつなぐ ふるさと 健幸創造都市 草津の実現」・「「する みる 支える 知る」"ALL くさつ"でつなぐ健幸スポーツのまち」
指定管理者名	合同会社草津市スポーツ振興事業体	3年目					
指定期間	令和4年4月1日 ～ 令和8年3月31日	4年目					
評価対象期間	令和5年4月1日 ～ 令和6年3月31日	5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	利用料金制(野村公園を除く)
指定管理者による運営開始日	平成22年4月
施設の供用開始日	平成12年から順次供用開始
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…☆☆☆☆		●市(施設所管課)の総合評価…☆☆☆	
令和5年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
「ひと・まち・ときをつなぐ 絆をつなぐ ふるさと 健幸創造都市 草津の実現」に向けて、ALL くさつでの施設運営管理に取り組み、「「する みる 支える 知る」"ALL くさつ"でつなぐ健幸スポーツのまち」をスポーツ振興事業を通じて、にぎわいのあるスポーツ文化の醸成を図る。 施設管理目標(令和5年度) ・施設利用者数 570,000人(社会体育施設を含む) ・教室開催回数 1,000教室(社会体育施設を含む延べ回数) ・にぎわい創出事業 20回以上(YMITアリーナ)		4月から6月までの期間グリーンスタジアムを人工芝改修工事のため施設閉館したが、日頃の利用者に周知された結果、大きな混乱はなかった。 弾正公園、YMITアリーナともに利用者からの高評価、高い利用率を維持できているが、日頃の施設の保守やアンケート等での利用者の意見を反映させた施設運営を行った結果だと評価できる。今後も、利用者ニーズに沿った施設運営を継続されたい。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
施設管理運営は、指定管理者指定申請内容を順守し管理運営を行いました。グリーンスタジアムは人工芝改修工事のため4月から6月末までの期間は、臨時休場としました。コロナ感染症対策については、5月8日に5類感染症に移行したことに伴い、換気の基本対策、消毒液・非接触検温器の設置、社員による受付時のマスク対応および出勤時の検温などの基本的な対策を講じました。大会やイベントは、各主催者の上部団体の示す対応策に沿って運営を行うこととし、コロナ改善の通常開催に戻りつつあります。また、一般利用は、社員の真摯な接客態度や運営管理を認めていただき、概ね通常の水準を回復しました。利用料金収入は、概ね目標に届いたものの、電気代をはじめとする物価の高騰の影響もあり苦しい財政状況となりました。事務の執行にあたってはコンプライアンスを徹底して公共性や公平・公正を基本とした管理を行いました。 施設管理実績(令和5年度) ・施設利用者数 592,122人(社259,772人+都332,350人) ・教室開催回数 953教室(共催・後援事業などを含む/都市公園を含む延べ回数) ・にぎわい創出事業 15(スポーツ以外5を含む/中止3) 教室開催については、募集に対して参加者が集まらず、計画通りに開催回数を確保することができなかった。 にぎわい創出事業については、プロスポーツリーグの大会中止等が重なり目標達成には至らなかった。		(応募状況:公募) 施設管理に関して、民間事業者等の多様なアイデアを抽出するため公募による選定とした。 (使用料・利用料金制について) 弾正公園テニスコート・グリーンスタジアムについては、これまでも利用料金制を導入しており、指定管理者の自主的な経営努力を促し、積極的な施設の利用促進を進めている。 くさつシティアリーナ(YMITアリーナ)については、令和元年度から新規に供用を開始した施設であり、これまでにない大規模施設であることや、“新たなにぎわい”としての各種イベントの誘致・開催を見込んでいたが、供用開始2年目、3年目と新型コロナウイルス感染症の影響による閉館などから、今後の固定的な利用予測が困難であった。そのため今期も使用料金制度を継続し、実績を積み重ねたのち、令和8年度以降の指定管理期間から利用料金制度の導入を検討するものとしている。	

◇施設に係る主な指定管理業務
・弾正公園、野村公園および弾正公園駐車場、野村公園駐車場の利用に関する業務 ・弾正公園駐車場、野村公園駐車場の施設および設備の維持管理に関する業務 ・体育、スポーツ活動等の指導に関する業務 ・利用料金の設定などの利用料金制の運用に関する業務 ・弾正公園、野村公園の適切な運営と施設利用者の利便を図るための事業の実施に関する業務

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

評価項目1	都市公園の管理運営に関する職員研修			
	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	スポーツ施設管理士、スポーツ施設運営士等のスポーツ施設管理運営に必要な資格の更新講習を受講しました。また、防火管理者による消防訓練（消火、通報）を実施しました。	上半期評価	施設管理者として必要な資格の更新を適切に行い、消防訓練やAED講習など非常時の利用者の安全確保について見直すことができた。また、施設利用中の怪我や事故についても、救急搬送など適切な対応が出来ており、研修の成果が見られる。
	☆☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	接遇（コミュニケーション力）研修、心肺蘇生法・AED研修を実施すると共に、各施設において防火管理者による消防訓練（消火、通報）を実施しました。また、芝生の管理を円滑に行う専門資格である「芝生管理技術者3級」を社員1人が取得しました。	下半期評価	非常時の研修に加え接遇研修など幅広く研修を実施できている。 また多目的広場の維持管理技術向上のため、「芝草管理技術者3級」を取得するなど、人材育成について積極性が見られた。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

評価項目2	都市公園の利用者に関する業務			
	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	条例・規則に準じて作成した「事務処理マニュアル」を基に、公の施設の管理者として公平・公正に手続きを行いました。コロナ感染症の5類移行後も消毒や換気等の基本的な対策を継続すると共に、熱中症対策として、注意喚起ののぼりの設置、利用者への声かけ、アイシング用の氷の常備などを行い適切に対応しました。	上半期評価	バドミントン、卓球などのラケットやボール、ボールスクープ、シューズなどの備品を揃え、施設を手ぶらで気軽に利用いただけるよう貸し出しを行うことで、利用者へのサービス向上や繰り返し施設を利用いただける仕組みづくりに注力された。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	条例・規則に準じて作成した「事務処理マニュアル」を基に、公の施設の管理者として公平・公正に手続きを行いました。また、熱中症対策として、注意喚起ののぼりの設置やアイシング用氷、休憩室の確保等を行い、利用者へのサービス向上を図りました。5類に移行したコロナ感染症対策を各施設において基本的な対応を適切に行いました。	下半期評価	適切に日常の事務処理や利用者対応をされ、大きなトラブルなく施設運営を行うことができた。また、利用者アンケートでは、可能な範囲で対応策を講じるよう努めたことは理解できる。
	☆☆☆☆		☆☆☆	

評価項目3	都市公園の保守点検ならびに清掃などに関する業務			
	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	利用者に安全・安心に快適にご利用いただけるように 職員による開館前点検・日常の巡回点検を実施しました。YMITアリーナおよび弾正公園の清掃は担当者を配置し、一部を業者委託することで、より清潔で安全な施設を心掛けました。また、機械設備等の点検は、専門業者に委託し年度計画に沿って行いました。弾正公園の芝生管理は養生期間の他に休場日を利用し作業を行いました。	上半期評価	利用者が安心安全に利用いただけるよう保守点検や、職員巡回を定期的 to 実施された。草刈や植栽管理は周辺の住宅の迷惑とならないよう、定期的に作業され、依頼があれば業者発注や、直営での対応など迅速に対応された。
	☆☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	利用者に安全・安心に快適にご利用いただけるように 職員による開館前点検・日常の巡回点検を実施しました。YMITアリーナは外部委託による清掃を行い、より清潔な施設を心掛けました。また、機械設備等の点検（仕様書で示されている業務）については専門業者に委託し年度計画に沿って適切に行いました。	下半期評価	利用者が安心安全に利用いただけるよう保守点検や、職員巡回を定期的 to 実施された。草刈や植栽管理は周辺の住宅の迷惑とならないよう、定期的に作業され、依頼があれば業者発注や、直営での対応など迅速に対応された。
	☆☆☆☆		☆☆☆	

評価項目4	事業（体育・スポーツ活動等の指導）の実施に関する業務			
	指定管理者の自己評価		市（施設所管課）の評価	
	上半期評価	競技性の高い教室は、スポーツ協会主催へ移行し、競技力の推進・子どもの体力向上につなげました。また、びわこ成蹊スポーツ大学と連携し、子どもの体力向上・健康管理を推進する事業である「びわスポキッズプログラム」を開催しました。	上半期評価	子どもから大人まで幅広い年齢層が参加できる事業（プロスポーツチームから講師を招いた教室、無料開放デー、ヨガや体操等）を実施することができた。また、合宿での利用を優先的に申し込める制度を定め、利用者の低い平日の利用促進につなげることが出来た。
	☆☆☆☆		☆☆☆	
	下半期評価	1期（3ヶ月）の教室を継続開催し、スポーツを継続して実施する機会の提供に努めると共に、教室参加者対象の利用者アンケートを参考に利用者ニーズに合った教室や開放事業を開催し、生活の中へのスポーツの定着化を目指しました。	下半期評価	子どもから大人まで幅広い年齢層が参加できる事業（プロスポーツチームから講師を招いた教室、無料開放デー、ヨガや体操等）を実施することができた。休館日の施設利用についても、臨時的な対応であったがシフト調整し利用者のニーズに沿った対応をされたことは評価できる。
	☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	